

椿だより

第8号 平成29年 秋号

社会福祉法人 宗得会

横須賀市太田和2-3-21

T e l : 046-857-9598

F a x : 046-857-9894



秋の大運動会



平成29年度敬老会



「今年のお祝い膳です」



介護(ケア)から学んだことその3

日本認知症ケア学会で「ケアによって生じるBPSDをケアの力で回避する」という研究発表が目をつけた。BPSDとは、暴言暴力、落ち着きなく動き回るなどの認知症の行動・心理症状をいうのだが、なんとか落ち着いてもらおうと介護者が関わることで、逆にBPSDを助長してしまう、という発表だった。確かに思い当たる節もある。私がまだ駆け出しの頃、食事介助は全量摂取してもらう、入浴は声掛けしたら必ず入ってもらう、レクリエーションに誘ったら必ず参加してもらう、というのが拒絶されて出来なければ声掛けした者が出来ない人と判断されて先輩職員が半ば強制的に関わっていたのを思い出す。何もしないで車イスに座ったままで表情が陰しく頭数としての存在。居室に戻るとそのストレスで夜中大声を出している。当時は、日中刺激を与えることで夜間は熟睡すると誰もが思っていた。今では、このような不同意による「強制」が認知症の方のストレスになって、脳の扁桃体に嫌な体験として記憶され、BPSDの一因となることが分かっている。しかし、それが周知されてケアに生かされているわけではない。当グループホームでも職員全員が出来ているかと問われれば難しい。今までの経験から学んで気付いている職員も多いが、状況によっては同じ職員でも判断が難しい時もある。

それは在宅でも同様に見受けられる。完璧に介護をしなければいけないと思いついて、食事は沢山食べた方が良くとか、お風呂は毎日入った方が良くとかと頑張ってしまう。

それが逆に認知症の人にはストレスになることもある。認知症の方は、沢山の情報が入りすぎると混乱して、食欲が落ちたり排泄が滞ったり、不機嫌になることもある。その為、情報の過多を調整することも必要になってくる。

認知症の方が出来る出来ないをしっかりとアセスメントすることも重要であるが、「認知症だから・・・」という視点ではなく、認知症の人の懸命なメッセージを知ることで、今まで当たり前のようにしてきた対応が変わり、多くのBPSDを回避でき、認知症の進行も緩やかに出来るのではないだろうか。施設の職員も在宅の介護者もケアに一生懸命である。それ故に悩み苦しみ全てが楽しいわけではない。でも、一生懸命になれるのはなぜだろうか。それは、身内や他人に限らず「人の役に立てること」にやり甲斐を感じる。そういう心優しい人たちが携わっているからだと思っている。

厚労省の資料によると、介護関係の仕事に就いた理由と辞めた理由について、興味深い結果が出ている。介護の仕事を選んだ理由のトップが「働き甲斐のある仕事だから」「人や社会の役に立ちたいから」とあるが、辞めた理由の第1位と2位が「法人や施設の理念や運営のあり方に不満があったため」「職場や人間関係に問題があったから」と介護の仕事そのものではなく、法人や施設に問題があって辞めたということである。法人はこの結果を重く受け止めて、現場で頑張っている職員を大事にしていることが必要なのではないだろうか。

福祉バザール

in JA70-ラ武山集荷場



焼き鳥、いかがですか〜

秋晴れの10月1日、日曜日。今年も福祉バザールに参加しました。



おかげさまで、開店から1時間で300本を完売しました。

完売！！



今年の椿園は「焼き鳥」を販売しました。国産の鶏肉、塩味にこだわり、なかなかの出来栄え？でした。



会場の風景です

また、パッチワークボランティアさんのパッチワークや、椿園デイサービスの手作りの小物も販売しました。皆様、ご協力ありがとうございました。



穂坂夏海さん
特技はなんとお魚をさばくこと
好きな芸能人は船越英一郎。しぶい！

グループホームつばきでは、湘南医療専門学校での介護実習生の受け入れをしています。

10月～12月の実習では毎週金曜日に2名の生徒が介護の仕事の勉強をしています。

ご利用者の皆様も孫のような若い生徒たちが来るのを楽しみにしています。



ガンバレ！未来の介護士たち

～グループホームつばき～



二人ともご利用者一人一人とかかわり、ふれあい、心を通わせることのできる介護士をめざして実習に励んでいます。

未来の介護を支える人材を育てるお手伝いをしながら、受け入れる職員もまた多くのことを学んでいます。



吉原一希さん
一人っ子のおいちゃん子で育ちました。
横浜DeNAベイスターズのファンです。

ご長寿さん、いらっしやい

100歳以上の方をご紹介します

Part II

ご長寿のみなさんに質問をしました。

- ① 好きな食べ物
- ② 日課・趣味
- ③ チャームポイント



椿園デイサービス
池田 アヤ子さん
103歳

- ①なんでも好きです
- ②草むしり
- ③歴史の本を読む事
- ③我慢強い



特 養
塚田 タケさん
104歳

- ①寿司、刺身
- ②塗り絵、編み物
- ③正直、穏やか



デ 付 ビ ス ャ 椿
米倉 ヤエ子さん
101歳

- ①刺身、ハンバーグ
- ②洗濯物干し、計算
- ③笑顔、頑張り屋

椿だより第6号で
ご紹介した、
梶ヶ谷チエ子さん
103歳と
姉妹です。



口腔ケア強化!

今年度より歯科衛生士の訪問による、ご利用者の口腔内環境改善の取り組みを始めました。

口腔ケアは行ったつもりでも、よく見ると汚れが残っていることがあります。その汚れが肺に入ると、日本人の死因、第3位である肺炎（誤嚥性肺炎）を起こしてしまう、とても怖いものなのです。

そこで椿園では、歯科衛生士による研修会を開催し、基本的なことから、実践的なことまで幅広く学びました。



いつまでも自分で食べる為に、誤嚥性肺炎の予防の為に、全ては御利用者の為に、これからも取り組んでいきます。

ランチイベント

8月21日に元ホテルオークラシェフの吉野氏をゲストにお招きし、ランチイベントが開催されました。



- メイン料理はお肉かお魚のどちらかをご選択!
- ☆ チキンオレガノとローズマリー風味 浅葱ソース
- ☆ サーモンソテーのハウレン草クリーム仕立モルネ焼き



いつもと違うオシャレな料理を楽しみました

西第一地域包括支援センター

～ 地域ケア会議を行いました ～

9月12日、神奈川県精神保健福祉センター精神科医師の桑原先生をお招きし、「地域で元気に暮らすために ～閉じこもり・うつ予防支援 人生90年代の心の健康づくり」と題して講演をいただきました。

自分らしく生き抜くための「心の健康づくり」「心の健康度を高める7つのヒント」「なぜ心の健康度が下がるのか」など、90分にわたるお話はとてもわかりやすく、130名の参加者の皆さんはうなづいたり、身を乗り出して聴いていました。



お手伝いします

成年後見制度



認知症などにより判断能力が低下すると、金銭の管理や買い物などが難しくなります。徐々に判断能力が低下すると、質が低下した生活環境になじんでしまうため、生活のしにくさを感じることも難しくなります。

このような時に人としての尊厳を保ち、権利を守られ、安心して暮らせるように「法的に保護する制度」が成年後見制度です。

地域包括支援センターでは、制度について説明したり、申立てのお手伝いをします。詳しいことは地域包括支援センターへお問合せ下さい。

☎ 046-857-9939

埼玉西武ライオンズ 秋山翔吾選手からサインを頂きました



2017年、パ・リーグ首位打者の秋山翔吾選手は横須賀出身です。当法人職員と友人で、そのご縁でサインを頂きました。早速、事務所前に飾りました。秋山選手ありがとうございました。これからも益々のご活躍を期待しています。



AED(自動体外式除細動器)を設置しました

心臓が痙攣をおこして心停止状態になった時、電気ショックで心臓の動きを戻す装置=AEDを横須賀椿園の玄関に設置しました。多くの職員が設置時の講習に参加して、使用方法を学びました。



行事予定

- 11月 紅葉外出、みかん狩り
- 12月 イルミネーション見学
クリスマス会、餅つき
- 1月 新年祝賀会、初詣外出
- 2月 節分
- 3月 ひな祭り、お花見



編集後記

前号の表紙の「りんご」は無事収穫でき、甘くて美味しかったそうです。やはり、自分たちで育てたものは愛着があって、一味違いますね。また来年も楽しみです。

早いもので、もう師走ですね。年末は何かと忙しいですが、皆様お身体に気を付けて、良いお年をお迎えください。(椿姫M)



お知らせ

椿園ライブ満載中!!

宗得会ホームページ
スタッフブログ更新中

<http://soutokukai.com>

グループホームつばき はこちら

<http://20030401.net/>

